



「明治150年」記念施策

全国運河サミット in みやぎ

～日本一長い運河群の沿川から復興支援に対する感謝を込めて～

平成30年 10月26日 金・27日 土

日本一長い運河群

仙台湾岸には、旧北上川から松島湾を通り阿武隈川まで外洋を通らず舟運が可能な日本一長い運河群があります。総延長は約49km（仙台南港築造後は約44km）です。北上運河・東名（とうな）運河は明治政府の野蒜築港で開削され、貞山（ていざん）運河は、仙台藩が関係する木曳堀・御舟入堀と明治期に完成した新堀を野蒜築港に関連して拡幅改修されて命名されました。貞山は伊達政宗のおくり名です。現在は治水や利水の機能に加え、歴史、環境、景観等の魅力を有する土木遺産として、多くの方々に愛されています。

10/26 金 場所 仙台国際センター会議棟2F（萩・桜）

メイン会場 [萩] 12:00～16:30（定員400名）

事前申込み制

※ご参加には事前お申し込みが必要です（先着順）。
※お申し込み方法は裏面をご覧ください。

基調講演

『明治150年』歴史に学ぶ地域づくり人づくり

かく こうぞう

加来 耕三 / 歴史家・作家

パネルディスカッション

『歴史のかおる運河を活かした復興まちづくり
～そして未来へ～』

パネラー／半田市長（半田運河）、日南市長（堀川運河）、東松島市長、名取市長、
田中仁東北大学教授、後藤光亀実行委員会アドバイザー
コーディネーター／宮原育子宮城学院女子大学教授（貞山運河再生復興会議座長）

プログラム

12:00～	開場
12:50～13:00	運河紹介と感謝の気持ちを込めたスライドショー
13:00～	開会 主催者挨拶
13:10～14:10	基調講演 加来 耕三氏
14:30～15:50	パネルディスカッション
16:10～	全国運河サミット in みやぎ宣言
16:30	閉会



かく こうぞう
加来 耕三氏

学生生活を経て、昭和59年（1984）3月に、奈良大学文学部研究員。現在は大学・企業の講師をつとめながら、歴史家・作家として独自の史観にもとづく著作活動をおこなっている。

運河復興パネル展 [桜] 11:00～16:30

事前申込み不要

どなたでもご入場いただけます。

全国運河利活用・復興まちづくりパネル展開催
観光案内配布・物産販売なども実施予定です。



パネル展イメージ



松並木を残した災害復旧

10/27 土 場所 運河沿川各地

スタディツアー『運河沿川の震災復興の今』

9:00～16:30（予定）

事前申込み制

※ご参加には事前お申し込みが必要です（先着順）。
※お申し込み方法は裏面をご覧ください。



野蒜築港跡



御舟入堀



貞山運河舟運事業

主催 / 全国運河サミット in みやぎ実行委員会（運河利活用5団体・石巻市・東松島市・松島町・利府町・塩竈市・七ヶ浜町・多賀城市・仙台市・名取市・岩沼市・宮城県）・一般財団法人自治総合センター

後援 / 総務省・復興庁宮城復興局・国土交通省東北地方整備局・東北大学大学院工学研究科・東北大学災害科学国際研究所・石巻専修大学公益社団法人土木学会東北支部・公益社団法人土木学会土木史研究委員会

問い合わせ 全国運河サミット in みやぎ実行委員会事務局（宮城県土木部河川課企画調査班）

TEL 022-211-3173

※このシンポジウムは全国モーターボード競争旅行者協議会からの拠出金を受けて実施するものです。

全国運河サミット in みやぎ

検索



10/26(金)メイン会場[萩]と10/27(土)スタディツアーへの
お申し込みは、WEBサイトの応募フォームまたはFAXより
受付しております。下記期間内にお申し込みください。

申込み期間 平成30年 **9月20日**

※受付は先着順となります。応募多数の場合は、期間に関わらず受付を締め切ら
せていただく場合がございます。応募状況はWEBサイトで確認できます。

スタディツアーご応募の方

先着受付後、集合時間・集合場所・日程表等記載された「ご出発案内」をお送り
いたします。(10月5日頃発送予定)
※先着受付の結果は「ご出発案内」の発送をもって代えさせていただきます。



WEBからのお申し込みはこちら



<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kasen/ki-zennkokuunngasamitto1.html>

全国運河サミット in みやぎ

FAX宛先 **022-721-7092**

F A X 参 加 申 込 書			
参加 希望日	※ご希望日にチェックをつけてください(両日可能) <input type="checkbox"/> 10/26(金) メイン会場[萩] <input type="checkbox"/> 10/27(土) スタディツアー	※スタディツアー参加ご希望の方は下記のコース1つにチェックを入れてください。 <input type="checkbox"/> 石巻・東松島 (仙台発) <input type="checkbox"/> 石巻・東松島 (石巻発) <input type="checkbox"/> 仙台湾・松島湾 (仙台発) <input type="checkbox"/> 仙台・名取・岩沼 (仙台発)	
お名前	フリガナ	年齢	性別
ご住所	〒 -		
ご連絡先	電話番号	F A X 番号	メールアドレス

※ご家族・お友達などグループでのお申し込みも可能ですが、参加申込書はおひとりずつご記入ください。

10/27 土 スタディツアー 9:00~16:30(予定)

※ご参加には事前申込みが必要です。
※指定場所へ集合・バスでの移動となります。
※ルートは変更になる場合がございます。



石巻・東松島

定員各35名

仙台発

石巻発



『土木遺産と復興の今を学ぶ』

明治政府が東北交通網の扇の要として計画した野蒜築港。石井開門・北上運河・東名運河を整備し、一時舟運で活況を呈した野蒜港であるが、一夜の嵐で廃港へ。これら明治期の土木遺産を中心に歴史をひも解きながら、地元の団体等から現在の運河の利活用を紹介しします。また、運河は津波の減災効果も通り道にも。甚大な津波被害を受けた石巻市・東松島市の復興状況を紹介しします。

ルート

東松島市震災復興祈念公園[東名運河]

市街地跡・煉瓦橋台(津波遺構)

野蒜築港跡

定川北開門(釜開門)[北上運河]

明治・大正期の開門遺構を保存

いしのまき元気いちば[昼食等]

がんばろう石巻[南浜震災復興祈念公園予定地]

石井開門(国重要文化財)[北上運河]

※昼食は「いしのまき元気いちば」で自由食(実費)です。

仙台湾・松島湾

定員 35名

仙台発



『運河とまちづくりの歴史から学ぶ復興の今』

江戸時代から現在まで、人々の暮らしやまちづくりは各時代に築造された港と運河に密接な関係がありました。東日本大震災はその土地に大きな被害をもたらしました。運河群や島々に津波の減災効果はあったのか? 港と運河の歴史や利活用団体の取組を紹介しながら復興の現場を巡ります。また、遊覧船では日本三景松島を観光案内とは違った地形・地質の目線でご覧いただけます。

ルート

仙台市海岸公園荒浜地区

大代公民館[運河と津波]

御舟入堀フットパス

マリゲート塩釜[昼食等]

遊覧船[運河と松島湾・島々の減災効果]

松島海岸散策[瑞巖寺と津波等]

西行戻しの松[松島湾を俯瞰]

※遊覧船乗船料1500円を現地徴収いたします。
※昼食は、マリゲート塩釜内にてお弁当をご用意しております。お弁当代1000円を現地徴収いたします。

仙台・名取・岩沼

定員 35名

仙台発



『運河と共に未来へつなぐ復興まちづくり』

名取市関上地区では、官民連携で貞山運河などの水辺空間を利用したかわまちづくりを実施しています。乗船や関上朝市での浜焼きを通じて、未来に向けた魅力的な復興まちづくりを体感します。岩沼市では、復興のシンボルとして整備した千年希望の丘において、復興の現状に触れるとともに、運河周辺の景観づくりにつながる植樹体験を行います。

ルート

仙台市荒浜小学校

名取市関上地区

- ・かわまちづくり
- ・社会実験舟乗船
- ・復元木造舟見学
- ・朝市浜焼き体験
- ・メイプル館[昼食等]

仙台南部海岸[みどりの防潮堤]

岩沼市千年希望の丘

・祈念植樹等

※昼食は「メイプル館」で自由食(実費)です。

ご不明点がございましたらお気軽にお問い合わせください。

全国運河サミット in みやぎ 実行委員会事務局 (宮城県土木部河川課企画調査班)

TEL 022-211-3173